

**自分も人も大切に**  
道標ない旅 ~思いやり  
・チャレンジ  
・しなやかな心~



<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ 1月より小中連携教員である 先生に6年生が習っています。 ◆◆

1月より、先生が本校で勤務されています。長柄小学校第6代校長でもある先生は、10月まで、南郷中学校にて、現中学1年生の数学の授業を支援されていました。12月まで葉山小で、1月から長柄小で、いわゆる、算数・数学の小中連携がうまくいくような役割を担っていられます。「ジャマイカ」といった算数グッズを教えてくださいましたが、とても興味深いものでした。どうか宜しく願い申し上げます。



◆◆ 重要な連絡です。来年度の日課表（時程）に変更があります。 ◆◆

変更の主たる理由は、3年生以上で取り組んできました「60分授業」の検討を行い、45分授業スタイルに戻ることになったためです。次年度の習い事等に影響があると思われるので、取り急ぎ下校時刻等をお伝えします。何卒ご留意ください。4年生以上は月曜日とクラブ委員会の日の金曜日が6時間授業と変更になります。

2023年度

1年生

	月曜日	火曜日	水曜日 会議の日	木曜日	金曜日
授業時間数	5	5	5	5	4
下校時刻	14:45	14:45	14:25	14:45	13:40

2年生

	月曜日	火曜日	水曜日 会議の日	木曜日	金曜日
授業時間数	5	5	5	5	5
下校時刻	14:45	14:45	14:25	14:45	14:45

3年生

	月曜日	火曜日	水曜日 会議の日	木曜日	金曜日
授業時間数	5	6	5	6	5
下校時刻	14:45	15:35	14:25	15:35	14:45

4～6年生

	月曜日	火曜日	水曜日 会議の日	木曜日	金曜日	金曜日 クラブ・委員会
授業時間数	6	6	5	6	5	6
下校時刻	15:35	15:35	14:25	15:35	14:45	15:35

※ 全時間45分授業

※ 水曜日は会議の日のため、掃除なしの5時間授業

※ 上記のコマ数に加えて、朝のモジュールの時間で1コマ分授業が行われます。

◆◆ 2月10日（金） 第5回南郷中・長柄小合同学校運営協議会を南郷中にて開催しました。 ◆◆

会議の概要は、次号で紹介したいと思います。第1報として、この会議にて、合同運営協議会のHPが承認されました。今後、会議の内容にとどまらず、長柄地区の地域の話題も紹介できるHPに高めていく予定です。コミュニティ・スクールとは何か詳しく知りたい方にも、参考頂けるように説明も加えています。

是非一度は覗いてみて頂けると嬉しいなと思います。

現在はキーワードからの検索は出来ませんが、下記URLを入力いただければご覧頂けます。ご質問も受け付けられるようになっていきます。ご活用頂けると幸いです。

<https://nagae.hayama-cs.com/>

◆◆ 学校下の学校側から返葉新道に入るT字路交差点（A地点）の右折可能性を探っています。 ◆◆

現在、南郷中・長柄小合同学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の支援を受けて、南郷中学校との小中一貫校化を視野に、教員の円滑な学校間移動や、南郷中自転車通学路である裏道を走行しないで済むようにしたいといった理由で、A地点での返葉新道への右折進入の可能性を探っています。

1月30日と31日の2日間、朝の時間5分間と、昼の時間5分間、4回の映像を3方向から撮影し、安全に右折できるタイミングがあるかどうかについて検証作業を行いました。同様に、2月8日には教育委員会学校教育課も来て下さり、可能性を探っていただきました。

本校の調査結果では、5分(300秒)で考えると、最大で約1分半待てば、まず間違いなく「安全に右折できる」タイミングが必ずあると予測されました。1分半も待たずにタイミングが訪れることがかなりあると考えられるので、長柄交差点の渋滞に巻き込まれたり、幅員の狭い裏通りを進んだりするより、タイミングを待って右折をする方が良いと考えられると判断しました。このことを受けて、右折許可の申請を3月の合同運営協議会で最終判断を下し、申請の是非を決定していきたいと考えています。申請した場合、その先は、「同地点で過去に起こった交通事故の状況(履歴)の確認」や、「終日を通した安全性の確認」など、より詳しい調査が警察の方でなされ、右折許可の判断が下されることと推察します。

まだ許可申請するとは限りませんが、もし右折が実現できた場合は、将来にわたって、お子様を車で送ってくる保護者の方々も含め、安全なタイミングが訪れるまで、決して無理な右折をしないことが、事故の防止、安全な右折を実現する鍵になっていくことでしょう。**右折許可した結果事故が発生してしまったら台無しです。本当に安全な状況訪れるまで右折しない。**そこを皆様と共有していくことができればいいなと強く願います。



◆◆ コロナウイルス感染症とともにインフルエンザも流行しています。 ◆◆

2年3組を2月7日から2月9日までの3日間学級閉鎖といたしました。インフルエンザ罹患児童が増えたためです。学校ではコロナ陽性児童もいますので、両方の罹患者が出ている状況にあります。いずれは収まるとは言え、発症時には体に負担がかかるのも事実です。健康維持のために感染防止に努めましょう。加えて、保護者会でお伝えしますが、卒業式でマスクを外すことが認められました。急に外してよいといっても児童は外せないと予想されるので、卒業式及びその練習に関しては、マスクを外して良いとする検討に入っています。

◆◆ 私たちの社会を変革し、私たちの未来を作り上げていくためのコンピテンシー ◆◆

(OECD Education 2030 プロジェクトについて 文部科学省より)

今、葉山町教育委員会では、OECD教育プロジェクト等の考えを参照し、予測不能な時代（VUCAの時代）に生きていく葉山の子どもたちを視野においての、学校教育目標等の見直しを図ってまいりたいと考えています。令和7年度には分離型小中一貫校としてスタートする本校においても、中学校と一貫して接続していく学校教育目標の見直しは、重要なことと捉えています。以下、OECD教育プロジェクトが唱えていることを簡単に紹介します。

**用語解説 コンピテンシー:個人の資質能力・行動特性**  
**コンテキスト:「背景」・「支脈」・「状況」・「前後関係」等**

子供たちが生活のあらゆる側面において積極的な役割を担っていくためには、様々なコンテキストを超えて、不確実性の中を歩んでいくことが必要である。そのコンテキストは、時間軸（過去、現在、未来）であったり、社会的な空間（家族、コミュニティ、地域、国、世界）であったり、デジタルの空間であったりする。同時に、その脆さや複雑さ、価値を尊重しながらも、自然界と共存していくことが求められるだろう。

OECD が DeSeCo（「コンピテンシーの定義と選択」）プロジェクトにおいて定義したキー・コンピテンシーに立脚して、Education 2030 プロジェクトでは、さらに、3つのコンピテンシーのカテゴリーを、「**変革を起こす力のあるコンピテンシー**」として特定した。それが、

- ① **新たな価値を創造する力、**
  - ② **責任ある行動をとる力、**
  - ③ **対立やジレンマに対処する力**
- の三つである。

